

平成18年度 第17回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成19年 2月 11日 (日) 会場 ひたちなか市総合運動公園総合体育館

【男子バスケットボール】 第2日目 Cコート 第2試合

チームA 湘南工科大学 神奈川	80	21 1Q 24 16 2Q 28 20 3Q 34 23 4Q 26 OT	112	チームB 船橋市立船橋 千葉
------------------------------	----	--	-----	-----------------------------

湘南工科大学

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	森田 洋介	29	2	11	7	16	9	9	5	1	3	11	1	4		33
5	清田 翔馬	16			6	12	4	11	1	3	1	4	2		1	34
6	芹澤 義仁	6			3	7			3		5	3	1			31
7	高橋 孝爾	10			5	8			3	1	1	2	2	3		29
8	星野 健太				3				2		1	1	2	1		10
9	最賀 諭紀				1											3
10	佐藤 祥啓								1							5
11	鈴木 翔大	2		1	1	2			1		1					3
12	小倉 圭輔															DNP
13	山田 夏輝	9	1	1	3	7			2		2	4	3	1		29
14	園 隆太															DNP
15	大野 元志															DNP
16	野添 駿	2				3	2	2					2	1	1	11
17	大野 将司	3	1	1												1
18	岸 涼太	3	1	1		4					1		1			11
コーチ	横山 秀夫															
		80	5	15	25	63	15	22	18	5	13	27	13	11	2	200
		確率	33.3%	39.7%	68.2%				計	18						

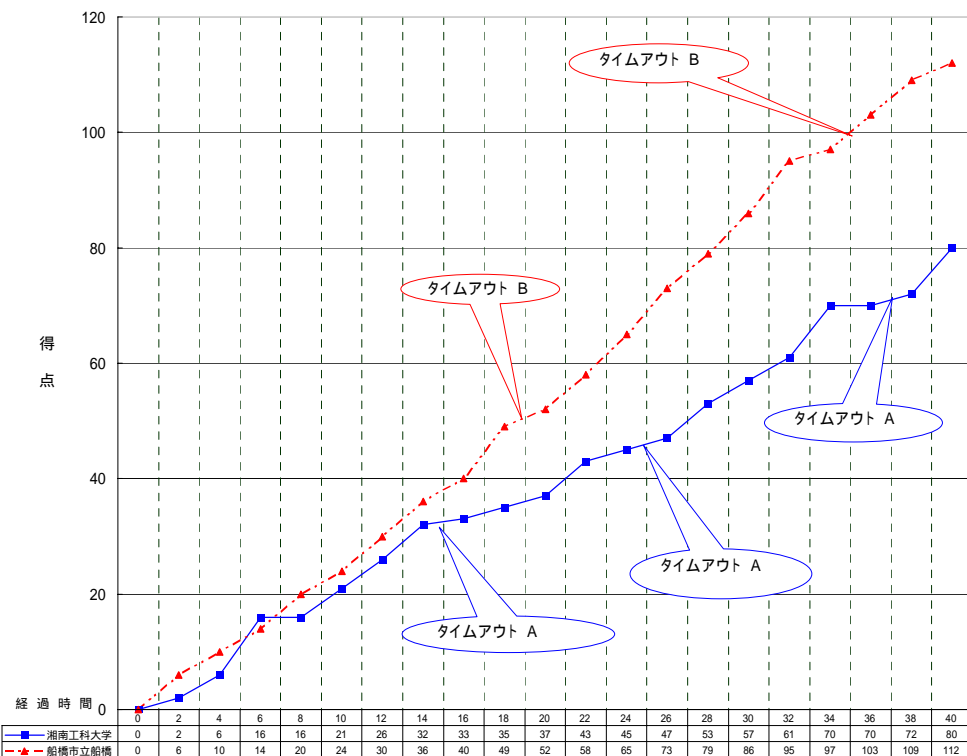
船橋市立船橋

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	神 佳希	43	1	6	18	28	4	6	3	3	3	2	4	2		33
5	岩井 俊憲	3	1	2					2		2	3	4	6		27
6	三富 修平	2			1	2	2	2	2	1	1	1				21
7	遠藤 祐亮	14	2	3	4	6			5	1	5	6	1	2		27
8	星野 拓海	37	4	10	12	14	1	1	3	3	4	4	2	1	1	37
9	小出 翼	3	1	3		4			3	1	4	3	1	3	2	35
10	西 信之	7			2	4	3	4		1	2		1			9
11	和田 保彦								1		1	1		1		6
12	河合 智平	1				1	3									1
13	常世田 政明	2		1	1	1					1					3
14	實川 一輝															DNP
15	齋田 一步															DNP
16	野口 将志												1			1
17	渡部 大樹															DNP
18	鍵富 豊															DNP
コーチ	廣田 誠															
		112	9	25	37	58	11	16	19	10	22	21	13	16	3	200
		確率	36.0%	63.8%	68.8%				計	32						

スターティングメンバー

出場選手

2分毎による得点の推移



戦評

全てのポジションにおいて身長で上回る市立船橋に対し、湘南工科大学がスピードでどこまでその差をカバーできるかが注目される試合である。前半は、共にハーフコートマンツーマン。第1P、市立船橋は、#4神、#8星野がインサイドで身長差を生かしたプレイで得点を重ねリードを奪う。しかし、湘南工科大学も#4森田の1対1などで反撃し、互いに譲らぬ展開となった。第2Pも中盤までは一進一退の攻防が続く。しかし、終盤、#4神のドライブが立て続けに決まり、市立船橋が15点リードで前半を終了する。第3P、湘南工科大学はオールコートマンツーマンを敷いたかと思うと、#4神へのフェイスガードを仕掛けるなど、ディフェンスから勝機を見いだそうとするが、勢いを止めることができない。さらに、#8星野が3Pシュート、インサイドとオールラウンドな活躍を見せ、市立船橋がリードを広げて勝敗の大勢を決めた。第4P、湘南工科大学は激しいディフェンスと#4森田のドライブインなどで最後まで食らいつつ、ポジションをはずさずプレイする長身選手揃いの市立船橋の攻撃を最後まで止められない。結局、終始安定した戦いを見せた市立船橋が112 - 80で勝利し、決勝進出を決めた。

主審	渡邊 整 (栃木)	副審	緒方 崇 (東京)	記入者	中山 徹也
----	-----------	----	-----------	-----	-------